

令和元年8月26日  
鉄道局技術企画課

## 車椅子使用者の単独乗降と列車の安全確保を両立しうる 段差・隙間の目安がとりまとめられました

東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、国内外から訪れる多くの移動制約者の円滑な移動の実現が望まれているところ、国土交通省では、車椅子使用者の単独乗降と列車の安全確保を両立しうる、プラットフォームの状況等に応じた段差・隙間の目安などについてとりまとめました。

鉄道駅においても、来たる東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、国内外から訪れる多くの移動制約者の円滑な移動の実現が望まれております。

バリアフリー法に基づく移動等円滑化基準においては、プラットフォームと車両の床面をできるだけ平らにするとともに、プラットフォームと車両との間隔をできる限り小さくすることを求めています。段差・隙間についての数値基準等は定められておりません。

このため、国土交通省においては、昨年10月から、「鉄道駅におけるプラットフォームと車両乗降口の段差・隙間に関する検討会」を立ち上げ、実証実験等を通じて、車椅子使用者の単独乗降と列車の安全確保を両立しうる段差・隙間等について検討を行い、この度、それらの目安や整備の方向性などがとりまとめられました。

### ① 整備実現に向けた当面の目安値

	コンクリート軌道		バラスト軌道	
	段差	隙間	段差	隙間
直線部	3 cm	7 cm	目安値 (3 cm) を参考に、できる限り平らに	目安値 (7 cm) を参考に、できる限り小さく
曲線部	3 cm	— 〔できる限り小さく〕	目安値 (3 cm) を参考に、できる限り平らに	— 〔できる限り小さく〕

② 東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の最寄り駅やその乗り換え等に利用される首都圏の主要駅については、同競技大会に向けて対応可能な駅やプラットフォームを選定し、優先的に整備を進める。

③ 単独乗降しやすい駅のマップ化やアプリなどの鉄道事業者等の取組とあわせて、一緒に乗降する一般の鉄道利用者が積極的に手助けをすることで、車椅子使用者の円滑な移動を確保することも望まれる。



連絡先：鉄道局技術企画課

担当者：中谷、高橋

電話：03-5253-8111 (内線40702、40704)

直通：03-5253-8546 FAX：03-5253-1634